

2017年7月26日

## 企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2017年7月24日と25日に、ノーウォークで会合を開催しました。この会合は、高品質なグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で22回目となりました。

会合では、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が関心を有している項目である「概念フレームワーク」、「財務報告及び開示」、「収益認識」、「持分法会計」及び「料金規制対象活動」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き、意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2018年の1月に東京で開催する予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の会合では、財務諸表の構成要素から表示及び開示までの、幅広い論点を議論することができた。これらはすべて会計基準を高品質なものとし、国際的な比較可能性を確保するために重要な論点であり、FASBと建設的な議論ができたことは、我々にとって非常に有意義なことであった。引き続き、このような会合を通じて、高品質でグローバルな会計基準の開発に貢献していきたい。」

ラッセル・ゴールデンFASB議長は次のように述べています。

「ASBJとの年2回の会合は、互いに関心がある基準設定上の論点について、価値の高い視点をFASBに提供し続けている。このような意見交換は、それぞれの利害関係者及び世界中の投資家の便益のために、会計基準を改善し、比較可能性の向上を達成するための機会を識別することに役立っている。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <https://www.asb.or.jp/jp/> をご参照いただきたい。

## 米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASB は、1973 年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いている。FASB は、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されている。FASB の基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されている。FASB は、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表している。米国財務会計財団（FAF）は、FASB の支援及び監督を行う。詳細な情報は、ホームページ [www.fasb.org](http://www.fasb.org) をご参照いただきたい。